



ほうないっ子の新しい遊びのスタイル!?  
～ 広々とした校庭でのびのびと～



# ほうない

第4号

村上市立保内小学校  
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

子どもの問いを大切に

校長 須貝 学

好奇心が旺盛な子どもは、私たち大人や親に対して「これなあに」「どうして」と繰り返し質問してきます。特に小学校に入る前の幼児期の子どもにも多く見られるようです。皆さんにも、この質問攻めに遭い対応に苦慮した経験をお持ちの方が多いのではないのでしょうか。低学年のお子さんであれば、まだまだ継続中かもしれません。

子どもは元来、強い探究心を持っていています。これは、人間がまだ野生動物だった頃の名残だという説があります。野生動物は、生まれた瞬間に過酷な自然環境の中に身をおきます。その瞬間に、周囲から様々な情報を得て行動しなければ、たちまち天敵の餌食になってしまいます。そのため、動物には先天的に強い探究心が備わっているのだそうです。

このような生きる力の源となる子どもの疑問に対して、適切な良い答え方について、子育て

の専門家が、次のように説明しています。面倒だからと話をはぐらかしたり、「つまらない」と言っていないで、さっさと勉強しなさい」と言ったりはしないこと。また、「〇〇に聞きなさい」と回答を人に押し付けるのも避けること。そして子どもの知的好奇心を更に伸ばし、探究心を深めるためには、「そんな不思議に気づくなんてすごいね」と、その疑問を持ったことを褒めてあげることだそうです。

学校の授業においても、本来子どもは、強い好奇心を抱いて学習に取り組みます。子どもの知的好奇心を刺激し、疑問や問いを引き出すことで、目を輝かせて学習に向かいます。

現在、学校は臨時休校で遅れた学習を取り戻すために、内容に軽重をつけて学習を進めることも必要です。しかし、過度な教え込みにならずに、子どもの疑問を大切に、じっくりと考える学習も大切にしています。